

函医看専第 674 号
平成 30 年 3 月吉日

各 位

公益社団法人 函館市医師会
函館市医師会看護専門学校
学校長 本間 哲
副学校長 萩澤 正博
副学校長 田中 和子



謹 啓

陽春の候、皆様には誠にありがとうございます。また、平素より当校には格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昭和 28 年に開設いたしました函館市医師会附属准看護婦養成所（現函館市医師会看護専門学校 准看護学科）は、当時、看護職の不足が具現化する中で、人的（教員、講師）・物的（教材、実習施設等）な困難を極めながらも、先人たちの大変なご努力により今日に至る学校運営の道筋が開かれて参りました。以降、昭和 46 年同附属准看護婦学院、昭和 56 年同附属看護高等専修学校、そして平成 17 年には校舎の老朽化、狭隘化を解消するとともに、看護師 2 年課程（進学コース）を併設し、函館市医師会看護専門学校として新築移転し、今日まで 4,200 余名の准看護師を輩出して参りました。

しかしながら、近來における医療技術の進歩や医療提供体制の多様化、また看護大学の乱立とも言うべき台頭により学生の向学志向が強まり、ここ数年は准看護学科への入学希望者は減少の一途をたどって参りました。当校は道南圏の看護需要が向後暫くは継続するという時局に鑑み、准看護学科は本年 3 月、第 64 回生の卒業をもって閉科することとし、同時に看護学科は平成 30 年度の学生募集を停止いたします。そして当地の地域医療を堅持すべく、より優秀な看護職の育成を目指して、平成 31 年 4 月から新たな看護師 3 年課程の開設に向け鋭意準備を進めております。

ここに、今日まで当校の運営に多大なるご支援、ご協力を賜りました講師、実習施設並びに就業施設等々、関係各位の皆様には深甚なる謝意を表するとともに、厚く御礼申し上げます。また、当校卒業生に対しましては向後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

以上、略儀ながら書中を以ちましてご挨拶とさせていただきます。

謹 白